

取扱説明書(機種別)

アナログ入力モジュール

WRL-AT1, AT2, AT4, AT8

この取扱説明書では機種ごとの使用方法を説明しています。別刷りのリアルリンク取扱説明書と合わせてご利用下さい。

watanabe製品をご愛顧いただきありがとうございます。ご希望通りに仕様であるかラベルの記載内容をお確かめ下さい。本品は、厳重な品質管理基準に基づいて製造、検査されております。万一、輸送中の破損などで不都合がありましたら、弊社またはお買い上げの販売店までご連絡下さい。

ご使用にあたって

ご使用前にリアルリンク取扱説明書の1ページにある「安全にお使いいただくために」を必ずお読み下さい。

仕 様

WRL-AT -

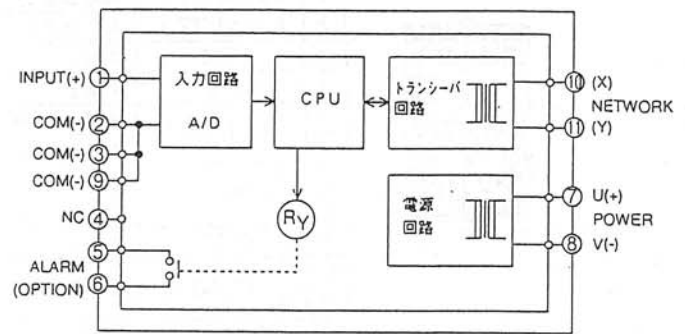
シ リ ー ズ	タ イ プ	入 力 点 数	入 力 カ ド	電 源	オ プ シ ョ ン	検 査 成 績 書	内 容
WRL	AT		DS				伝送速度78kbps ツイストペアケーブル
	AT						アナログ入力モジュール
		1					1量入力
		2					2量入力
		4					4量入力
		8					8量入力
			DS				直流信号入力
			12				DC0~1V 入力抵抗1MΩ
			13				DC0~5V 入力抵抗1MΩ
			14				DC1~5V 入力抵抗1MΩ
			15				DC0~10V 入力抵抗1MΩ
			25				DC0±10V 入力抵抗1MΩ
			35				DC0~20mA 入力抵抗50Ω
			36				DC4~20mA 入力抵抗50Ω
				1			AC85~264V 消費電力約4VA
					X		標準
					A		通信警報出力(8量入力は無)
					0		なし
					1		付き

概 要

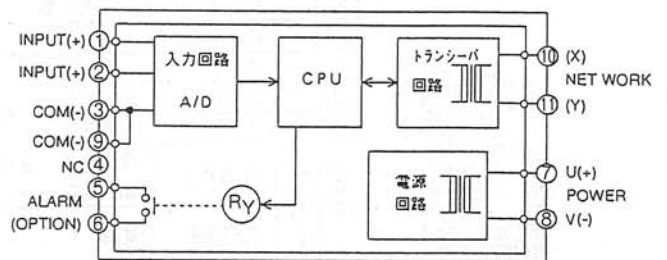
直流信号を入力とする多重伝送器の送信ユニットです。通信は1対のツイストペアケーブルでおこないます。

回路ブロック図

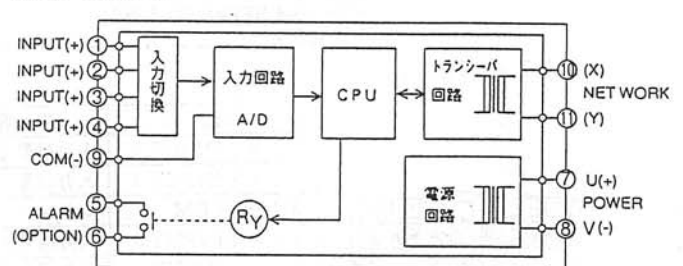
WRL-AT1DS



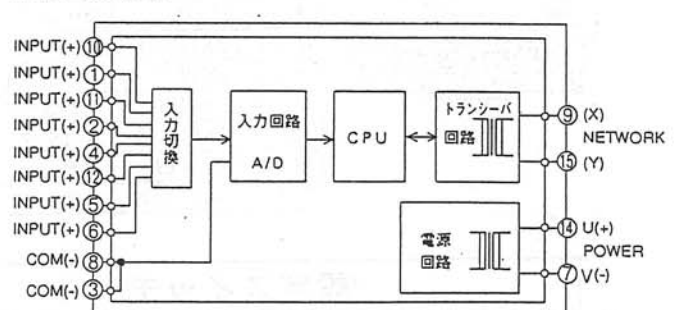
WRL-AT2DS



WRL-AT4DS

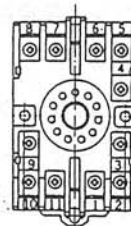


WRL-AT8DS



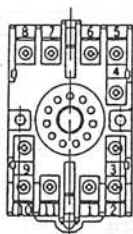
端子配列

WRL-AT1



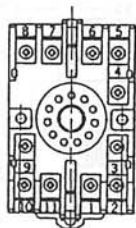
No.	記 号	内 容
1	+	INPUT 入力信号
2	-	COM コモン
3	-	COM コモン
4		N. C. 空端子
5		ALARM 通信エラー警報出力(オプション)
7	U	POWER 電源
8	V	POWER 電源
9	-	COM コモン
10	X	NETWORK 通信
11	Y	NETWORK 通信

WRL-AT2



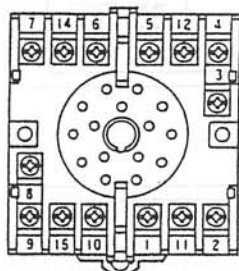
No.	記号	内容
1	+	INPUT 1 入力信号 1
2	+	INPUT 2 入力信号 2
3	-	COM コモン
4	-	N. C 空端子
5		ALARM 通信エラー警報出力(オプション)
6		
7	U	POWER 電源
8	V	
9	-	COM コモン
10	X	NETWORK 通信
11	Y	

WRL-AT4



No.	記号	内容
1	+	INPUT 1 入力信号 1
2	+	INPUT 2 入力信号 2
3	+	INPUT 3 入力信号 3
4	+	INPUT 4 入力信号 4
5		ALARM 通信エラー警報出力(オプション)
6		
7	U	POWER 電源
8	V	
9	-	COM コモン
10	X	NETWORK 通信
11	Y	

WRL-AT8



No.	記号	内容
1	+	INPUT 2 入力信号 2
2	+	INPUT 4 入力信号 4
3	-	COM コモン
4	+	INPUT 5 入力信号 5
5	+	INPUT 7 入力信号 7
6	+	INPUT 8 入力信号 8
7	V	POWER 電源
8	-	COM コモン
9	X	NETWORK 通信
10	+	INPUT 1 入力信号 1
11	+	INPUT 3 入力信号 3
12	+	INPUT 6 入力信号 6
14	U	POWER 電源
15	Y	NETWORK 通信

各スイッチの設定方法はリアルリンク取扱説明書にありますので、各項目に付記したページをご参照ください。

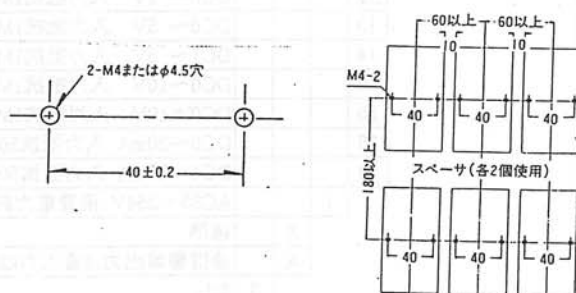
- ① エラーモジュール番号表示(AT1のみ実装)
通信テストをおこなった時、通信ができなかった受信モジュールの番号を表示します。(14ページ)
- ② アドレス設定スイッチ
アドレスの設定(11ページ)と、ファンクションスイッチと組み合わせて通信ヒステリシスの設定(14ページ)をします。
- ③ ファンクションスイッチ
有効チャンネル数の設定(13ページ)、アドレススイッチと組み合わせて通信ヒステリシスを設定(14ページ)、アドレスの記憶(13ページ)と通信テスト(14ページ)をします。
- ④ エラー表示LED
モジュールの状態とトラブルの内容が確認できます。(15ページ)
- ⑤ サービスLED
サービススイッチを押した時と、内部のEEPROMのデータが破壊された時に点灯します。(16ページ)
- ⑥ リセットスイッチ
設定終了後に押して内部に設定データを書込みます。(10ページ)
- ⑦ サービススイッチ
マネージメントツール(近日発売)を使用し、コンピュータに接続する時に使用します。マネージメントツールがないシステムでは機能しません。

範囲外入力時の動作

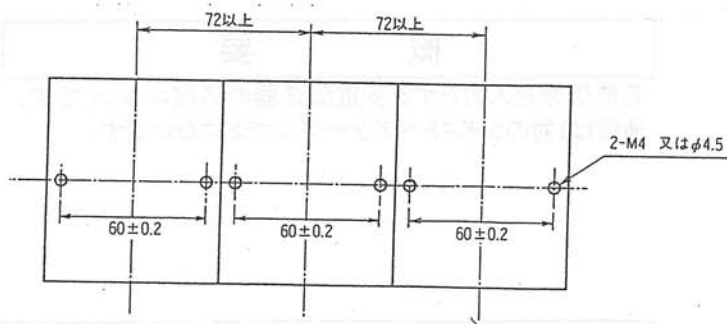
1. 過大入力
入力信号が100%を越えた場合、104%までのデータ送信します。これ以上の過大な信号が入力されても104%を越えるデータは送信しません。
2. 過小入力
入力信号が0%を下回った場合、-4%までデータを送信します。これ以下の過小な信号が入力されても-4%を下回るデータは送信されません。

取付寸法

WRL-AT1/2/4

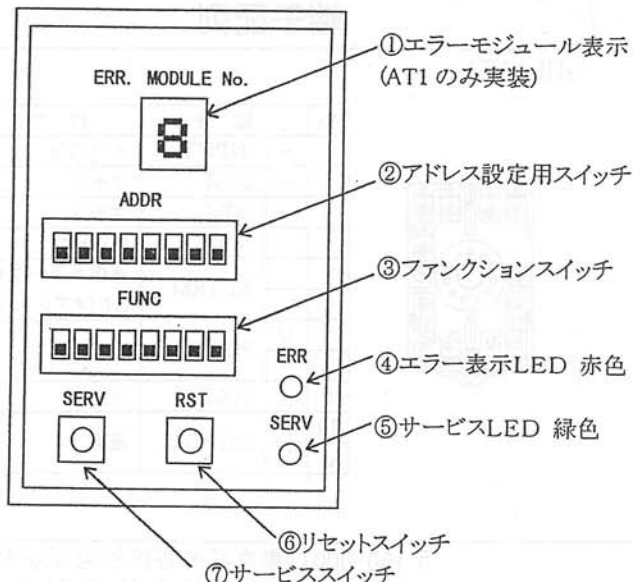


WRL-AT8



設定スイッチ

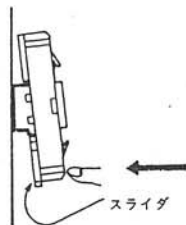
前面のふたを手前に開けると下図のスイッチがあります。



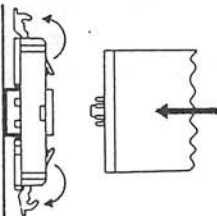
DINレールへの着脱

1. 取付け

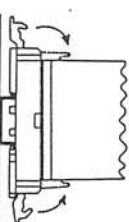
①黄色のスライダが下側になるように取付けます。裏面のフックをレールにかけ矢印の方向にカッチと音がするまで押してください。



②黄色のフックを外側に広げます。本体を差す前に必ず電源を切ってください。本体の上下を確かめてまっすぐ差し込みます。上下を間違えると、本体プラグ部を破損することがあります。

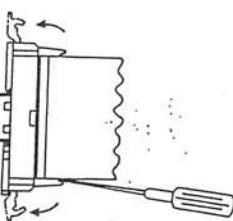


③フックで本体を必ず固定してください。フックで固定しないと振動や衝撃で本体が脱落したり、接触不良を起こし事故の原因になります。

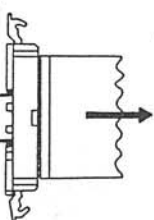


2. 取りはずし

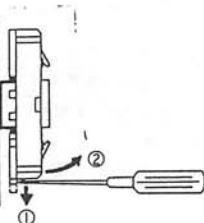
①両側の黄色のフックをドライバーなどを使ってはずします。



②本体をはずす前にかならず電源を切ってください。本体をまっすぐ手前にひくとはずれます。



③黄色いスライダの溝にドライバーを差し込んで①の矢印の方向に下げながらソケットを②の矢印の方向にひくとはずれます。



その他の注意事項

1. 設置

- ・使用温度が0～55℃の範囲を越えない場所に設置してください。
- ・使用周囲湿度が90%以下で結露しないところに設置してください。
- ・塵埃、金属粉などの多い場所に設置する場合、放熱対策を施した防塵設計の筐体に収納してください。
- ・振動、衝撃は故障の原因になります。極力避けてください。

い。

2. 配線

・電源ライン、入力信号ライン、通信ラインはノイズの発生源、リレーの駆動ラインの近くに配線しないでください。

本器は電源投入と同時に使用可能です。すべての性能を満足するには30分間の通電が必要です。

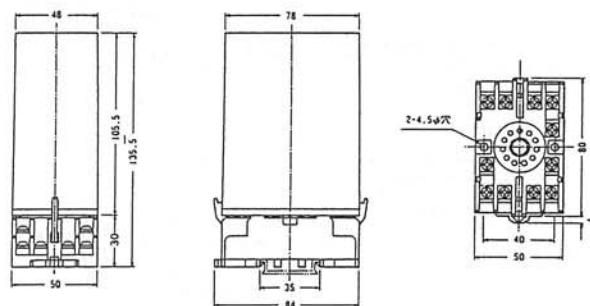
保証

本製品の保証期間は納入後1年間です。この期間内にカタログと本取扱説明書および別刷りのリアルリンク取扱説明書に定めてある条件で使用中に故障が生じた場合、弊社またはお買い上げいただいた販売店までご連絡下さい。無償修理または新品交換させていただきます。また、故障修理をご依頼される場合、必ず不具合の内容を具体的にお知らせ下さい。

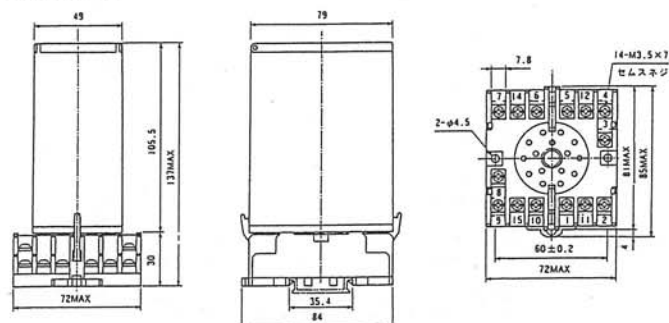
なお製品を分解、改造されたり、カタログと本取扱説明書および別刷りのリアルリンク取扱説明書に定めた条件以外でご使用された場合の保証はご容赦いただきます。

外形図

WRL-AT1/2/4



WRL-AT8



付属品

- ベースソケット1個
11PFA(AT1,AT2,AT4用)
14PFA(AT8用)

別売付属品

- 終端抵抗 WRL-T100(100Ω)

